

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

市民活動部産業振興課(勤労者福祉担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		25,442
・ 2節 給料	一般職	11,727
	一般職職員	3人
・ 3節 職員手当等		9,868
	扶養手当	523
	地域手当	1,564
	通勤手当	436
	超過勤務手当	756
	休日給	0
	管理職手当	784
	期末勤勉手当	4,836
	住居手当	729
	児童手当	240
・ 4節 共済費		3,847
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

労働環境対策事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生を充実するとともに、雇用対策の充実を図る。

【事業の内容】

(1) 労働環境対策事業

- ・労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
- ・雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
- ・求職者向け就業支援事業を行った。

(2) 労政運営事務

- ・労政全般にわたる庶務的業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

雇用対策の推進(6-4-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,393	4,393	4,256		137
主な支出内訳				
・労働環境対策事業				
11節	湘南合同就職面接会求人一覧表用紙等消耗品費			0
	湘南合同就職面接会チラシ等印刷製本費			124
12節	広告料			95
13節	雇用対策セミナー実施委託料			328
	就労困難若年者支援委託料			210
	求職カウンセリング事業委託料			252
19節	就労困難若年者体験就労支援事業負担金			300
	県駐労福祉センター運営費補助金			33
	労働祭補助金			300
	鎌倉地区勤労者体育大会補助金			150
	三浦半島地域連合活動費補助金			70
	鎌倉地域労働組合総連合文化厚生事業補助金			70
・労政運営事務				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償			46
11節	消耗品費			75
	燃料費			54
	車両修繕料			86
27節	自動車重量税			7

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎**労政一般の経費**

**技能振興事業**

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 技能職者

意図 技能者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【事業の内容】

(1) 技能振興事業

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
512	512	444		68

主な支出内訳

・技能振興事業

1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 9人	27
8節	技能者表彰記念品等報償費	147
19節	技能職団体連絡協議会補助金	270

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

**勤労者福利厚生事業**

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、住宅資金利子補給、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【事業の内容】

(1) 融資預託事業

- ・市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利の増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に、資金を預託した。

(2) 勤労者福利厚生支援事業

- ・中央労働金庫から住宅資金融資を受けた勤労者に支払利子額(平成22年9月償還開始分まで)の一部を、勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を、それぞれ補助した。
- ・福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(25.4~26.3)		貸出残高(26.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	35	39,940,000	68	49,723,080

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,330	26,205	24,333		1,872
主な支出内訳				
・ 融資預託事業				
21節 中央労働金庫預託金				20,000
・ 勤労者福利厚生支援事業				
19節 住宅資金利子補給金				2,276
中小企業退職金共済掛金補助金				1,527
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金				530

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎勤労者福祉サービスセンターの経費

勤労者福祉支援事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【事業の内容】

(1) 勤労者福祉支援事業

- ・ 湘南勤労者福祉サービスセンターへ委託して、労働相談等の相談事業を行った。
- ・ 湘南勤労者福祉サービスセンターへ委託して、講座等の事業を行った。

(2) 勤労者福祉サービスセンター助成事業

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生の向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

湘南勤労者福祉サービスセンターへの支援(6-4-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,961	27,961	27,220		741
主な支出内訳				
・ 勤労者福祉支援事業				
13節	湘南勤労者福祉サービスセンター労働相談等事業委託料			706
	湘南勤労者福祉サービスセンター講座等事業委託料			660
・ 勤労者福祉サービスセンター助成事業				
19節	湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金			25,854

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 10会館管理費

◎勤労福祉会館の経費

勤労福祉会館管理運営事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 レイ・ウェル鎌倉の適切な維持管理をするため。

効果 適切な維持管理を行い勤労者福祉のための事業を実施する。

【事業の内容】

- (1) 勤労福祉会館運営事業
  - ・指定管理者との連絡調整を行った。
- (2) 勤労福祉会館管理事業
  - ・レイ・ウェル鎌倉を良好な状態に維持するため、必要な施設・設備修繕を行った。
  - ・指定管理者との協定に基づき、指定管理料を執行した。
  - ・レイ・ウェル鎌倉の閉鎖に伴い建物の適切な管理を行った。
  - ・レイ・ウェル鎌倉の閉鎖に伴い執務室の移転を行った。

レイ・ウェル鎌倉利用状況

(平成25年4月1日～平成25年11月30日)

区 分	延件数	延人員
ホール・会議室等	3,319件	37,585人

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
65,995	65,995	63,088		2,907

主な支出内訳

・ 勤労福祉会館運営事業				
11節 消防法改正消火器用消耗品費				219
14節 ファクシミリ等賃借料				44
・ 勤労福祉会館管理事業				
11節 消耗品費				158
レイ・ウェル鎌倉維持修繕料				1,716
13節 レイ・ウェル鎌倉指定管理料				60,822
大船支所LAN配線修繕委託料				76
大船支所への事務室移転業務委託料				53
19節 指定管理者リスク分担金				0

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 5農業委員会費

◎農業委員会の経費

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【事業の内容】

(1) 農業委員会事務

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 平成21年12月の農地法改正等に対応する農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

農地管理システムの導入(6-2-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,301	8,301	8,003		298
主な支出内訳				
・ 農業委員会事務				
1節	農業委員会委員報酬 16人			6,078
8節	収穫まつり入賞記念品			5
9節	農業委員費用弁償			31
	事務局職員普通旅費			46
11節	遊休農地解消対策事業等消耗品費			442
14節	農地管理システム使用料			1,319
	農業委員大会用バス賃借料			74
19節	農業委員会職員事務研究会会費負担金			8
主な特定財源				
	・ 国県支出金			20

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 10農業水産業総務費

◎農業水産業一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

市民活動部産業振興課(農水担当)

農業委員会事務局

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		57,104
・ 2節 給料	一般職	27,090
	一般職職員	8人
・ 3節 職員手当等		20,991
	扶養手当	621
	地域手当	3,433
	通勤手当	872
	超過勤務手当	1,973
	休日給	24
	管理職手当	898
	期末勤勉手当	11,226
	住居手当	1,431
	管理職員特別勤務手当	8
	児童手当	505
・ 4節 共済費		9,023
	市町村職員共済組合負担金	



◎農業振興の経費

<b>農業振興運営事業</b>	【 産業振興課 】
-----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興：農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定を図ることで市場の経営基盤確立と野菜の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【事業の内容】

(1) 農業振興運営事業

- ・ 農業者・関係団体・公募市民等から組織する農業振興協議会の委員を委嘱した。
- ・ 鎌倉青果地方卸売市場に対する補助、秋の収穫まつりの実施などにより、農業の振興を図った。
- ・ 植木剪定材を利用した農業に適した堆肥を作成・販売し、化学肥料の使用量減に努めた。
- ・ 農業の担い手の確保や遊休農地の解消を図るため、人・農地プラン(地域農業マスタープラン)を作成した。
- ・ 降雪災害緊急支援事業費補助金については、国の制度運用を基に実施するため、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

農産物等ブランドの振興(6-2-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,151	42,451	6,255	32,300	3,896
主な支出内訳				
・ 農業振興運営事業				
7節	臨時的任用職員賃金			669
8節	鎌倉市農業振興協議会委員報償費			0
	手広川水路清掃作業報償費			70
11節	消耗品費			83
13節	鎌倉ブランド堆肥パッキング等委託料			1,127
	秋の収穫まつり委託料			450
19節	農業関係団体負担金			198
	農業振興事業費補助金			2,000
	鎌倉青果地方卸売市場活性化事業補助金			470
	鎌倉青果地方卸売市場集荷奨励事業補助金			823
	鎌倉市野菜生産出荷奨励事業補助金			302
	新規就農者確保支援事業交付金			0
	環境保全型農業直接支援事業交付金			23
	農業経営基盤強化資金利子補給金			40
	降雪災害緊急支援事業費補助金(翌年度への繰越明許費)			0
主な特定財源				
	・ 国県支出金			11

◎農業振興の経費

市民農園事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【事業の内容】

(1) 市民農園事業

- ・大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・土地所有者が事業主体となる市民農園について、新規の具体的な事案はなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,643	1,643	1,311		332
主な支出内訳				
・市民農園事業				
8節	市民農園耕作指導料等報償費			514
13節	市民農園施設整備等委託料			797

◎水産業振興の経費

水産業振興運営事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 水産業振興運営事業

- ・ 漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。
- ・ 漁業者・関係団体等で組織する協議会を設置し、鎌倉の水産業振興について協議・検討を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,887	2,887	2,320		567
主な支出内訳				
・ 水産業振興運営事業				
8節	鎌倉市水産業振興協議会委員報償費			88
11節	消耗品費			85
19節	神奈川県水産振興促進協会負担金			568
	神奈川県水難救済会等負担金			285
	漁業施設等災害見舞金			0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金			794
	腰越漁業協同組合事業費補助金			500

◎水産業振興の経費

漁港施設管理運営事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良い維持管理を行うとともに、老朽化や係船岸・泊地・漁業用地の不足などの改善と、市民にも利用しやすい漁港施設の整備を図るため。鎌倉地域の漁港建設の方針策定を図るため。

効果 漁業者が円滑に漁業活動を営むことを支援するとともに、市民に開かれ環境にも配慮した漁港施設を整備することにより、地域に密着した沿岸漁業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 漁港施設管理事業

- ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。

(2) 漁港施設整備事業

- ・ 腰越漁港整備基本計画に基づき、市民の理解を得ながら、整備事業を推進した。
- ・ 都市計画決定申請図書作成業務委託については、測量調査の成果を基に実施するため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 測量調査等委託については、測量範囲の確定に時間を要したため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 腰越漁港改修整備工事については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、腰越漁港改修整備工事を行った。

(3) 鎌倉地域漁港対策事業

- ・ 将来的な漁港整備について検討した。
- ・ 台風被害等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るため、関係機関との調整を図りつつ、必要な施策を検討した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

鎌倉地域の漁港建設(6-2-3-①)

腰越漁港の改修整備(6-2-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
145,372	282,230	228,300	53,210	720
主な支出内訳				
・ 漁港施設管理事業				
11節	漁港施設等維持修繕料			144
13節	腰越漁港指定管理料			378
	漁業施設等整備業務委託料			1,494
・ 漁港施設整備事業				
13節	水産公共工事システム運用支援委託料			997
	腰越漁港改修整備事業環境モニタリング調査委託料			2,310
	都市計画決定申請図書作成業務委託料(翌年度への繰越明許費)			0

	測量調査等委託料(翌年度への繰越明許費)	11
14節	水産公共工事システム使用料	693
15節	腰越漁港改修整備工事費(翌年度への繰越明許費)	80,869
	腰越漁港改修整備工事費(前年度からの繰越明許費)	137,524
19節	水産土木建設技術センター負担金	100
	・ 鎌倉地域漁港対策事業	
13節	漁港区域に関する調査委託料	3,780
主な特定財源		
	・ 国県支出金	138,962
	・ 地方債	41,600

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 5商工総務費

◎商工一般の経費

商工運営事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出が図られる。

【事業の内容】

(1) 商工運営事業

- ・商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,765	2,765	2,649		116
主な支出内訳				
・商工運営事業				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
9節	事務補助嘱託員費用弁償			99
11節	消耗品費			19
13節	姉妹都市物産展開催準備等委託料			475

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 5商工総務費

◎商工一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員等】

経営企画部市民相談課(消費生活担当)

市民活動部観光商工課(商工担当)

【職員給与費等】

(単位:千円)

職員給与費		44,049
・ 2節 給料	一般職	21,367
	一般職職員	5人
	再任用(短時間)	1人
・ 3節 職員手当等		15,482
	扶養手当	604
	地域手当	2,745
	通勤手当	629
	超過勤務手当	1,248
	管理職手当	898
	期末勤勉手当	8,291
	住居手当	647
	児童手当	420
・ 4節 共済費		7,200
	市町村職員共済組合負担金	6,449
	社会保険料	657
	雇用保険料	94

◎中小企業支援の経費

中小企業支援事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【事業の内容】

- (1) 融資預託事業
  - ・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。
- (2) 信用保証料助成事業
  - ・制度融資を利用した際に支払った信用保証料について、その一部を補助することにより、負担の軽減を図った。
- (3) 融資利子補給事業
  - ・経営安定資金融資の利用者に支払利子相当額の一部を補助し、負担の軽減を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
522,642	514,557	510,131		4,426
主な支出内訳				
・ 融資預託事業				
21節 中小企業融資預託金				500,000
預託先 4金融機関				
融資件数 117件				
融資金額 539,520千円				
・ 信用保証料助成事業				
19節 信用保証料補助金		123件		7,045
・ 融資利子補給事業				
19節 経営安定資金融資利子補給金		245件		3,086



(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商工業振興運営事業	【 観光商工課 】
-----------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商業の振興を図るとともに、地域商工業の総合的な改善・発達を図るため。

効果 市内中小企業者の経営安定の確保と、商工業の総合的な改善・発達を図り、産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【事業の内容】

- (1) 商工業振興運営事業
  - ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
  - ・ 公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払った費用の一部を助成した。
  - ・ 商工会議所が実施したプレミアム商品券発行事業に要する経費の一部を助成した。
- (2) 商工会議所助成事業
  - ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域経済活性化の促進(6-2-4-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,811	54,811	54,612		199
主な支出内訳				
・ 商工業振興運営事業				
19節	伝統的工芸品産業振興協会賛助会費			40
	経営アドバイザー派遣事業補助金			37
	プレミアム商品券発行支援補助金			39,868
・ 商工会議所助成事業				
19節	商工会議所運営費補助金			6,935
	商工業振興事業等補助金			553
	中小企業経営支援事業補助金			7,179

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商店街振興事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域商業の振興の実現を図る。

【事業の内容】

(1) 商店街助成事業

- ・鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。

(2) 商店街振興事業

- ・専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。
- ・商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。
- ・商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

商店街にぎわいづくり(6-2-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,915	12,915	11,937		978
主な支出内訳				
・ 商店街助成事業				
19節	商店街連合会補助金			1,710
・ 商店街振興事業				
8節	商店街アドバイザー謝礼			75
19節	商店街街路灯等維持管理費補助金			6,575
	商店街活性化事業費補助金			3,577

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商工業振興事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商工業者や商店街団体が事業展開しやすい環境を整備するとともに、中小企業の経営革新を支援するため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【事業の内容】

- (1) 商業振興共同施設助成事業
  - ・商業団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。
- (2) 新規活性化事業
  - ・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- (3) 工業振興事業
  - ・中小企業者が情報交換・交流することができるサイトを設置し、運営を開始した。
  - ・中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業の経営革新事業に要する経費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

産業環境の整備(6-2-6-①)  
新事業創出支援(6-2-8-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,619	3,619	2,963		656
主な支出内訳				
・商業振興共同施設助成事業				
19節 商業振興共同施設設置費補助金				132
・新規活性化事業				
1節 商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 2人				22
8節 商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼				50
19節 商工業元気アップ事業費補助金				1,802
・工業振興事業				
13節 事業者情報発信・交流サイト開設及び運営委託料				205
19節 環境共生事業(企業施設整備事業)等補助金				752

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

公衆浴場助成事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場業の健全な運営確保を図り、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【事業の内容】

(1) 公衆浴場助成事業

- ・公衆浴場を確保するため、一定の要件を満たす公衆浴場の用水費、燃料費及び光熱費の一部を助成した。
- ・公衆浴場の設備の整備については、対象となる事業がなかったため、助成を行わなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
579	579	296		283
主な支出内訳				
・公衆浴場助成事業				
19節	公衆浴場確保対策事業費補助金			296
	公衆浴場設備整備費補助金			0
主な特定財源				
	・国県支出金			60

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

伝統鎌倉彫振興事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 伝統鎌倉彫振興事業

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,595	1,595	1,504		91
主な支出内訳				
・ 伝統鎌倉彫振興事業				
11節	消耗品費			22
	鎌倉彫振興事業所光熱水費			466
	鎌倉彫振興事業所維持修繕料			72
12節	鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料			24
13節	鎌倉彫振興事業所警備委託料			123
19節	伝統鎌倉彫振興事業補助金			797

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 15消費生活対策費

◎消費者保護の経費

消費生活運営事業

【 市民相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

消費生活:消費者が安心して、トラブルのない消費生活を送れるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 担当内の庶務を円滑に推進する。

効果 担当内庶務の円滑化

【事業の内容】

(1) 消費生活運営事業

- ・消費生活行政の経理庶務事務予算については、執行しなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5	2	0		2

主な支出内訳

・消費生活運営事業

11節 消費生活行政に係る消耗品費

0

印刷製本費

0

◎消費者保護の経費

消費者被害対策事業

【 市民相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

消費生活:消費者が安心して、トラブルのない消費生活を送れるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受け  
けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対  
し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【事業の内容】

(1) 消費者啓発事業

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や暮らしのニュースなどによる啓  
発を行った。
- ・市民活動団体との協働で、不用品登録事業を行った。
- ・消費者運動の健全な発展を促すため、消費者団体の自主的活動を支援した。

(2) 消費生活相談事業

- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行い、解決が困難なものにつ  
いては消費生活紛争調停委員会の調停に付した。
- ・市民向けの一般流通食品の放射能測定を行い、機器保守は無償で行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

消費生活センターの運営と消費者被害の回復支援 (6-5-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,838	15,841	14,677		1,164
主な支出内訳				
・ 消費者啓発事業				
8節	移動教室、講座講師等謝礼			215
11節	消耗品費			41
	暮らしのニュース印刷製本費			198
19節	不用品登録事業負担金			790
・ 消費生活相談事業				
1節	消費生活相談員報酬 7人			10,477
	消費生活委員会委員報酬 7人			72
	消費生活紛争調停委員会委員報酬 2人			20
8節	消費生活相談員助言等報償費			850
9節	消費生活相談員費用弁償			841
11節	消費生活センター周知用等消耗品費			626
12節	電信料			36
13節	消費生活相談員助言委託料			500
	食品の放射能測定機器保守委託料			0
19節	消費生活相談員研修負担金			11

主な特定財源  
・ 国県支出金

3,966



(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

観光運営事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の魅力を広く周知することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。さらに、それら観光客が安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光運営事業
- ・ 神奈川県観光協会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広域観光宣伝や情報交換等を行った。
  - ・ 第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光基本計画の推進(6-3-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,324	4,231	4,081		150
主な支出内訳				
・ 観光運営事業				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
7節	臨時的任用職員賃金			385
8節	鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費			114
9節	事務補助嘱託員費用弁償			43
11節	消耗品費			60
13節	観光振興シンポジウム開催委託料			250
19節	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金			400
	神奈川県観光振興対策協議会負担金			210
	湘南地区観光振興協議会負担金			243
	鎌倉藤沢観光協議会負担金			180
	神奈川県観光協会負担金			90
	北条五代観光推進協議会負担金			50

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

市民活動部観光商工課(観光担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		38,283
・ 2節 給料	一般職	16,949
	一般職職員	5人
・ 3節 職員手当等		15,823
	扶養手当	1,044
	地域手当	2,267
	通勤手当	559
	超過勤務手当	3,323
	管理職手当	898
	期末勤勉手当	6,883
	住居手当	618
	管理職員特別勤務手当	0
	児童手当	120
	休日給	111
・ 4節 共済費		5,511
	市町村職員共済組合負担金	5,511
	雇用保険料	0

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 10観光振興費

◎観光振興の経費

<b>観光振興事業</b>	【 観光商工課 】
---------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の観光情報をタイムリーに提供することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。また、主要観光行事などの開催支援や、案内業務を適切に行うことによって、観光客に安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光振興支援事業
  - ・観光振興の経費に充てるため、寄附金などの収入確保に努めた。
  - ・鎌倉花火大会や俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなどに負担金を交付し、様々な鎌倉観光の魅力伝えることに努めた。
- (2) 広報宣伝事業
  - ・かまくら四季のみどころや観光マップなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。さらに、誘客キャンペーンや観光資料の充実に取り組んだ。
  - ・着地型観光の地元への定着を図るために必要な支援事業に取り組んだ。
- (3) 観光協会支援事業
  - ・鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の実施事業に対する支援を行い、鎌倉の観光振興に努めた。
- (4) 観光案内所運営事業
  - ・JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光情報の提供充実(6-3-3-①)  
観光プロモーションの推進(6-3-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
70,795	70,795	69,643		1,152
主な支出内訳				
・観光振興支援事業				
13節	寄附金収納代行業務委託料			136
19節	俳句&ハイク事業負担金			540
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金			1,045
	鎌倉花火大会実行委員会負担金			5,734
	主要観光行事安全対策負担金			4,750
・広報宣伝事業				
11節	消耗品費			98
	四季のみどころ印刷製本費			1,142

12節	電信料	11
13節	四季のみどころ編集業務委託料	1,008
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料	1,049
	観光ポスター作成業務委託料	441
	ホームページ更新等業務委託料	469
	課外授業ガイド作成業務委託料	378
	外国語版パンフレット作成業務委託料	415
19節	外国語ガイド活動支援事業負担金	1,100
	観光展出展事業等負担金	147
	着地型観光フォローアップ事業負担金	500
・観光協会支援事業		
19節	鎌倉市観光協会運営費等補助金	44,551
・観光案内所運営事業		
12節	電信料	111
13節	観光案内所業務委託料	5,971
19節	観光案内所電気使用料負担金	47
主な特定財源		
	・国県支出金	290

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 10観光振興費

◎観光振興の経費

観光施設整備事業

観光商工課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 施設面での充実を図ることにより、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光施設整備事業
  - ・観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。
  - ・公衆トイレの修繕・改修を行い清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)
- 観光案内施設の整備・充実(6-3-2-①)
- 公衆トイレの整備(6-3-2-②)
- ハイキングコースの安全管理(6-3-2-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
64,376	62,096	53,490		8,606
主な支出内訳				
・観光施設整備事業				
11節	公衆トイレ等維持修繕料			1,057
12節	公衆トイレし尿処理手数料			1,392
	観光資機材倉庫消防用設備点検手数料			13
13節	観光案内板作成委託料			16
	浄光明寺公衆トイレ設計業務等委託料(地質調査を含む)			2,908
	光明寺公衆トイレ工事監理業務委託料			850
	光明寺公衆トイレ仮設清掃業務委託料			0
	由比ガ浜海岸公衆トイレスロープ設計業務委託料			4,665
	協働型トイレ清掃委託料			0
	ハイキングコース整備業務委託料			5,662
	名所掲示板等作成業務委託料			6,081
	由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃委託料			207
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料			1,071
15節	光明寺公衆トイレ改修工事請負費			28,550
19節	ハイキングコースパトロール事業負担金			225
	協働型トイレ事業負担金			0
	光明寺公衆トイレ水道加入負担金			793
	トイレ協力店補助金			0

主な特定財源  
・ 国県支出金

31,610

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 15海水浴場費

◎海水浴場の経費

海水浴場運営事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場を3海岸で開設するために、安全確保のための諸設備の整備、監視業務等の委託を行い、安全で快適な海水浴を楽しむことができるようにすること。

効果 海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 海水浴場運営事業
  - ・海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整備した。
  - ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保に努めた。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,218	42,218	41,332		886
主な支出内訳				
・海水浴場運営事業				
11節	消耗品費			144
	光熱水費			13
12節	電信料			96
13節	海水浴場監視業務等委託料			25,612
	なぎさ整地事業委託料			4,326
	放送設備及び放送塔設置委託料			1,731
	コースロープ設置委託料			1,389
	仮設木橋設置委託料			1,499
	防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料			1,612
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料			4,564
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金			346

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎土木管理一般の経費

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【事業の内容】

(1) 土木管理運営事務

- ・部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
260	260	239		21

主な支出内訳

・土木管理運営事務

11節 一般文具等消耗品費

239



(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎土木管理一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市調整部(都市調整課風致担当を除く)

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		776,766
・ 2節 給料	一般職	376,584
	一般職職員	97人
	再任用(短時間)	7人
・ 3節 職員手当等		280,341
	扶養手当	13,865
	地域手当	48,132
	通勤手当	12,171
	超過勤務手当	23,709
	休日給	478
	管理職手当	10,336
	特殊勤務手当	2,794
	期末勤勉手当	146,163
	住居手当	18,782
	管理職員特別勤務手当	116
	児童手当	3,795
・ 4節 共済費		119,841
	市町村職員共済組合負担金	118,977
	社会保険料	450
	雇用保険料	414

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎がけ地対策の経費

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【事業の内容】

- (1) 既成宅地等防災工事助成事業
  - ・既成宅地等におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- (2) 急傾斜地防災工事負担事業
  - ・県が指定する急傾斜地崩壊危険区域内で行われる市内の急傾斜地防災工事事業費の約2割を県に支払うとともに、防災工事の促進を働きかけ指定区域の拡大を図った。
- (3) 急傾斜地崩壊対策事業
  - ・急傾斜地崩壊対策事業等の普及及びその促進を図った。
  - ・防災工事費に対する借り入れ利子の半額を助成(平成25年度は実績なし)

【中事業に含まれる実施計画事業】

既成宅地等防災工事費の助成(5-1-2-①)  
急傾斜地崩壊危険区域の指定及び防災工事の促進(5-1-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
97,521	97,521	86,772		10,749
主な支出内訳				
・ 既成宅地等防災工事助成事業				
19節	既成宅地等防災工事補助金			29,218
21節	既成宅地等防災工事融資預託金			744
・ 急傾斜地防災工事負担事業				
19節	急傾斜地防災工事負担金			54,868
・ 急傾斜地崩壊対策事業				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			1,542
9節	事務補助嘱託員費用弁償 2人			95
11節	消耗品費			76
19節	神奈川県治水砂防協会負担金等			229
	既成宅地等防災工事利子補給金			0

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道(水)路調査事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界査定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちが実現される。

【事業の内容】

(1) 道(水)路調査事業

- ・ 査定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、査定図を作成した。
- ・ 市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,312	70,457	66,035		4,422
主な支出内訳				
・道(水)路調査事業				
1節	事務補助嘱託員報酬 2人			1,114
7節	土地境界査定図交付事務等臨時的任用職員賃金			1,071
9節	費用弁償			104
11節	消耗品費			50
13節	境界査定立会等業務委託料			33,080
	境界立会 91回、打合せ協議 43回、石標埋設 57本、金属標埋設 54枚			
	4級基準点測量(伐採なし) 20,692.0m			
	境界点測量 741点、査定図作成 107,740.5㎡外			
	狭あい道路拡幅整備事業境界査定立会等業務委託料			14,715
	境界立会 38回、打合せ協議 2回、石標埋設 9本、金属標埋設 30枚			
	4級基準点測量(伐採なし) 9,330.8m、同(伐採あり) 801.1m			
	境界点測量 111点、査定図作成 36,188.4㎡外			
	鎌倉市道053-101号線他変位観測測量業務委託料			505
	公共嘱託登記業務委託料			403
16節	境界査定用境界杭等原材料費			499
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費			14,494
主な特定財源				
	・ 国県支出金			10,186

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道路台帳整備事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上が図れる。

【事業の内容】

(1) 道路台帳整備事業

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路及び水路等の境界査定図を管理・交付するためのシステムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地籍調査の公共施設管理への活用(5-4-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,794	69,946	65,723		4,223
主な支出内訳				
・道路台帳整備事業				
7節	法定外公共物等所管事務等臨時的任用職員賃金			2,338
13節	境界杭復元等業務委託料			30,071
	4級基準点測量 24,658.7m、石標埋設復元 85本			
	金属標埋設復元 282枚、金鋳埋設復元 407本、境界点復元測量 868点			
	地形測量 10,648.6㎡、検査探索 2,922点 外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料			10,080
	基準点機能回復測量業務委託料			0
	土地境界査定図管理システム機器保守委託料			1,172
	都市基準点測量業務委託料			16,275
	地籍調査事業測量等業務委託料			2,508
14節	土地境界査定図管理システム賃借料			2,753
16節	境界杭等原材料費			526
主な特定財源				
	・国県支出金			1,881

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【事業の内容】

(1) 道路施設管理事業

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

駅の拡充整備(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑤)

大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
105,897	96,716	87,819		8,897
主な支出内訳				
・道路施設管理事業				
11節	消耗品費			500
	光熱水費			8,815
	大船駅東口エレベーター前広場屋根等修繕料			1,972
12節	電信料			351
	道路賠償補償保険料			851
13節	大船駅東口エスカレーター等監視・清掃等業務委託料			687
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料			1,316
	道路維持業務委託料			6,987
	鎌倉駅通抜地下道清掃等委託料			467
	看板作成業務委託料			234
	路上放置自動車処理業務委託料			0
	大船駅管理施設警備監視業務委託料			12,551
	大船駅西口ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料			2,295
	大船駅西口エレベーター等設備保守管理業務委託料			4,788
	大船駅東口エレベーター等設備保守管理業務委託料			2,452
	大船駅東口エレベーター等清掃業務委託料			559
14節	大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料			1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料			40,639
19節	大船駅東口エスカレーター電気料負担金			0
	神奈川県道路利用者会議等負担金			93
22節	道路事故賠償金 3件			720

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活を送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理が図られる。

【事業の内容】

(1) 街路照明灯事業

- ・既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

街路照明灯の設置(5-4-2-⑪)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,165	30,157	29,792		365
主な支出内訳				
・街路照明灯事業				
11節	市内街路照明灯電気料			25,211
	街路照明灯維持修繕料			3,883
13節	街路照明灯設置業務委託料			698

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎作業センターの経費

作業センター事業

【

作業センター

】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 作業センター事業

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
116,890	116,890	103,436		13,454
主な支出内訳				
・作業センター事業				
11節	補修用消耗品費			1,685
	作業用車両燃料費			2,204
	印刷製本費			2
	光熱水費			96
	道路管理施設等維持修繕料			18,951
	備品修繕料			341
	作業用車両修繕料			3,324
	医薬材料費			39
12節	電信料			370
13節	上町屋資材置場警備委託料			107
	残土処分委託料			2,292
	カーブミラー設置業務委託料			3,465
	高圧洗浄による排水管渠等しゅんせつ清掃業務委託料			7,874
	道路側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料			3,393
	道路・河川清掃等業務委託料			25,363
14節	維持補修用重機賃借料			3,299
	FAX付コピー機賃借料			130
16節	補修用原材料費			30,231
18節	補修用備品購入費			0
27節	自動車重量税			270
*補修用原材料 費内訳	アスファルト合材	486 t	10,367 千円	
	常温合材	450 袋	1,214 千円	
	カーブミラー部材	115 面	4,936 千円	
	グレーチング蓋	90 枚	1,362 千円	
	山碎石	273 m <sup>3</sup>	1,255 千円	

U型側溝蓋等	712 枚	1,841 千円
生コンクリート他	1 式	9,256 千円

\* 補修班による  
維持補修

アスファルト合材舗装工	1,228 m <sup>2</sup>
アスファルト舗装打換工	1,022 m <sup>2</sup>
排水溝等新設工	103 m
カーブミラー新設・補修工	210 件



(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎営繕事務の経費

設計事務

【 経営企画課・建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【事業の内容】

(1) 設計事務

- ・ 建築設計積算業務に要する公的価格データを作成した。
- ・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、耐震化未対応である市有建築物の耐震診断業務を行った。
- ・ 公共建築物の維持保全システムの運用を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

公共建築物の維持保全システムの運用(0-Ⅱ-4-②)

公共建築物の耐震化(0-Ⅱ-4-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,689	29,064	22,475		6,589
主な支出内訳				
・ 設計事務				
1節	設計業務等補助嘱託員報酬 3人			4,320
9節	設計業務等補助嘱託員費用弁償			122
11節	消耗品費			530
	印刷製本費			54
13節	市場単価データ作成業務委託料			1,287
	市有建築物の耐震診断業務委託料(前年度からの繰越明許費)			8,898
14節	建築積算システム機器賃借料			4,972
	マイクロフィルムスキャンシステム賃借料			942
	空調負荷計算ソフト等賃借料			140
	維持保全システムクラウド利用料			1,210
主な特定財源				
	・ 国県支出金			2,680

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎測定分析の経費

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【事業の内容】

(1) 放射性物質測定事業

- ・学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,831	3,831	3,238		593
主な支出内訳				
・放射性物質測定事業				
7節	放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金			2,345
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)			578
	放射性物質測定装置修繕料			0
13節	食品・環境放射性物質測定装置点検委託料			315

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎都市調整の経費

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【事業の内容】

(1) 都市調整運営事務

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,998	5,998	5,711		287

主な支出内訳

・ 都市調整運営事務

1節	事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人	5,066
9節	事務補助嘱託員費用弁償	211
11節	一般文具等消耗品費	424
19節	神奈川県八市開発許可研究協議会負担金	10

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎開発審査の経費

開発審査事務

開発審査課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【事業の内容】

(1) 開発審査事務

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
346	346	343		3

主な支出内訳

・開発審査事務

11節	一般文具等消耗品費	194
	開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費	149
12節	審査資料等謄写手数料	0

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎建築指導の経費

建築指導事務

【 建築指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【事業の内容】

(1) 建築指導事務

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,415	12,415	7,556		4,859

主な支出内訳

・ 建築指導事務

1節	建築審査会委員報酬	3人		160
	事務補助嘱託員報酬	2人		2,006
7節	臨時的任用職員賃金	1人		426
9節	事務補助嘱託員等費用弁償			224
11節	消耗品費			416
	印刷製本費			0
	維持修繕料			0
12節	特定行政庁団体賠償責任保険保険料			50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料			2,843
	建築基準法に基づく構造計算適合性判定業務委託料			156
	長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料			0
	低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料			0
	長期優良住宅等の認定に係る構造計算適合性判定業務委託料			0
14節	建築確認支援システム機器賃借料			756
	建築行政共用データベースシステム利用料			16
19節	神奈川県建築物震後対策推進協議会等負担金			503

建築基準法に基づく確認及び許可等状況

件名	件数
建築確認	63
計画適合通知	12
建築許可	118
仮使用承認	3
道路位置指定	3
長期優良住宅認定	198
低炭素建築物認定	7

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎建築指導の経費

建築相談事業

【 建築指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 建築相談事業

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。
- ・ 共同住宅等の耐震性に関する居住者の意識の熟成を図るため、アドバイザーの派遣を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

木造住宅耐震補強への助成(5-5-3-①)

マンション等耐震改修促進の啓発(5-5-3-②)

危険ブロック塀等対策への助成(5-5-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,418	28,418	22,081		6,337
主な支出内訳				
・ 建築相談事業				
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼			85
13節	耐震相談業務委託料			347
19節	現地耐震診断補助金			2,000
	木造住宅耐震改修工事費等補助金			18,600
	危険ブロック塀等対策事業補助金			1,049
主な特定財源				
	・ 国県支出金			15,023

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路橋りょう管理運営事業

- ・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
37,895	37,377	37,266		111

主な支出内訳

- ・道路橋りょう管理運営事業

11節 消耗品費	569
印刷製本費	15
備品修繕料	32
13節 土木積算総合システム保守委託料	7,602
工事資材単価調査業務委託料	0
14節 土木積算総合システム機器賃借料	26,154
市町村システム使用料	2,426
電子複写機賃借料	468

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

防災安全部市民安全課(交通安全担当)

まちづくり景観部交通計画課

都市整備部道路課(整備担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		136,363
・2節 給料	一般職	63,486
	一般職職員	17人
・3節 職員手当等		52,330
	扶養手当	2,311
	地域手当	8,002
	通勤手当	1,581
	超過勤務手当	10,754
	休日給	229
	管理職手当	885
	期末勤勉手当	24,858
	住居手当	2,630
	児童手当	1,080
・4節 共済費		20,547
	市町村職員共済組合負担金	



(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 交通安全施設維持事業

- ・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

(2) 交通安全施設整備事業

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。

市道059-000号線外の交通安全対策施設工事を行った。

市道055-000号線の交通安全施設整備工事を行った。

市道046-000号線外については、年度内での完了が困難なため、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

歩道の整備(5-4-2-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,152	39,152	15,497	7,884	15,771
主な支出内訳				
・交通安全施設維持事業				
11節 カラー舗装等維持修繕料				1,675
ガードレール塗装等維持修繕料				448
13節 道路ライン等設置業務委託料				2,170
(区画線2,354.9m、文字記号1,647.6m、区画線削除70.2m、交差点鉾1箇所)				
・交通安全施設整備事業				
15節 交通安全対策施設工事請負費				7,777
内訳				
大船二丁目26番先外(市道059-000号線外)			7,777	
歩道段差等改善17箇所				
梶原三丁目15番先外(市道046-000号線外)			0	
歩道段差等改善(翌年度への繰越明許費)				
梶原三丁目29番先(市道046-000号線)			0	
ガードレール設置等				
交通安全施設整備工事請負費				3,427
寺分一丁目15番先(市道055-000号線) 歩道整備				
アスファルト舗装 面積44㎡、側溝改修 延長35.7m、集水桝改修1箇所				
主な特定財源				
・国県支出金				
				4,277

◎交通安全施設整備の経費

交通安全対策事業	【 市民安全課・道路課 】
----------	---------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
 地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち  
 道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少、交通バリアフリー化を図る。

【事業の内容】

- (1) 交通安全対策事業
- ・あんしん歩行エリア内の舗装のカラー化等、事故削減対策を実施した。
  - ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
  - ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
  - ・市内有数の交通量のある富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- スクールゾーンの整備(5-3-3-②)  
 あんしん歩行エリアの整備(5-4-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,721	23,021	21,680		1,341
主な支出内訳				
・交通安全対策事業				
1節	交通安全教育指導員報酬 3人			4,620
8節	自転車教室指導員謝礼			448
9節	交通安全教育指導員費用弁償			392
11節	消耗品費			95
12節	交通安全教室損害保険料			30
13節	スクールゾーン対策業務委託料			7,440
	富士見町駅下交通誘導業務委託料			591
15節	鎌倉駅及び大船駅周辺地区あんしん歩行エリア整備工事請負費			1,313
	鎌倉地区の歩行空間カラー舗装 面積38㎡			
	大船地区の交差点手前カラー舗装 面積55㎡			
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金			6,418
	鎌倉交通安全協会補助金			200
	大船交通安全協会補助金			133
主な特定財源				
	・国県支出金			300

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

放置自転車防止事業

【 交通計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【事業の内容】

(1) 放置自転車防止事業

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,800	43,760	42,686		1,074
主な支出内訳				
・ 放置自転車防止事業				
1節	放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人			8,598
	事務補助嘱託員報酬 2人			2,056
7節	臨時的任用職員賃金			698
9節	事務補助嘱託員費用弁償(通勤分)			125
11節	消耗品費			124
	印刷製本費			416
	光熱水費			351
	防犯灯等維持修繕料			122
12節	電信料			73
	保管自転車等損害賠償保険料			76
13節	放置自転車等防止対策業務委託料			26,960
	放置自転車等保管場所警備業務委託料			224
	放置自転車等廃棄処分業務委託料			190
	放置自転車等防止対策看板設置委託料			304
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料			182
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場土地使用料			2,187

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)10道路維持費

◎道路維持の経費

<b>道路維持補修事業</b>	【 道路課 】
-----------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路維持補修事業

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。
  - 市道008-017号線外の道路維持修繕工事を行った。
  - 市道008-000号線外の道路維持修繕工事を行った。
  - 市道001-093号線の道路維持修繕工事を行った。
  - 市道055-000号線外の道路維持修繕工事を行った。
- ・崩落土砂の除去や除雪等を行い、通行の安全確保を図った。
- ・大町三丁目11番先(市道006-044号線)の法面の安全を確保するための現況測量調査を行った。
- ・山ノ内557番1先の洞門山の隧道の健全度調査を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、トンネル点検業務を行った。
- ・前年度から事故繰越した、市道003-032号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・前年度から事故繰越した、市道019-007号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・北鎌倉トンネル改修設計等業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・市道042-027号線外については、平成26年2月に発生した大雪により、材料の納入が大幅に遅れたため、翌年度へ繰越しを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
157,681	220,059	153,398	25,014	41,647
主な支出内訳				
・道路維持補修事業				
11節	道路維持修繕料			14,966
13節	崩落土砂処分等業務委託料 6件			14,374
	除雪等業務委託料 11件			12,526
	測量調査業務委託料(大町三丁目11番先)			998
	測量調査業務 1式			
	隧道健全度調査業務委託料(山ノ内557番1先)			3,465
	地質調査業務 1式、解析等調査業務 1式			
	トンネル点検業務委託料(市道027-000号線外)(前年度からの繰越明許費)			7,056
	トンネル点検業務 19箇所			
	北鎌倉トンネル改修設計等業務委託料(翌年度への繰越明許費)			8,420
	トンネル改修設計等 1式			
15節	道路維持修繕工事請負費			91,593
内訳				

扇ガ谷二丁目3番先外(市道008-017号線外)	16,590
舗装工 延長254.2m 面積1,014㎡、排水工 延長126.8m	
由比ガ浜三丁目5番先外(市道008-000号線外)	5,133
側溝蓋改修 延長193.8m	
大町二丁目5番先(市道001-093号線)	13,124
舗装工 延長176.0m 面積479㎡、排水工 延長164.2m	
今泉二丁目13番先(市道060-018号線)舗装打換	0
鎌倉山四丁目4番先外(市道055-000号線外)	14,396
舗装工 延長96.0m 面積546㎡、転落防止柵設置 延長97.7m	
植木501番地先(市道209-037号線)舗装打換・排水整備	0
小町一丁目5番先(市道032-000号線)	6,592
排水工 延長143.6m	
大船二丁目9番先(市道059-018号線)	4,446
舗装工 延長200.2m 面積523㎡、薄層カラー舗装 面積42㎡	
笹目町5番先(市道030-000号線)	5,266
側溝蓋改修 延長171.3m	
材木座四丁目6番先外(市道003-024号線外)	8,285
舗装工 延長56.9m 面積47㎡、排水工 延長52.1m	
小袋谷一丁目3番先(市道209-008号線)	4,972
舗装工 延長33.2m 面積167㎡、側溝蓋改修 延長2.0m	
材木座二丁目6番先(市道003-032号線)(前年度からの事故繰越し)	5,436
舗装工 延長60.4m 面積209㎡、排水工 延長105.0m	
腰越五丁目14番先(市道019-007号線)(前年度からの事故繰越し)	4,553
側溝蓋改修 延長77.1m	
上町屋681番地先(市道042-027号線外)(翌年度への事故繰越し)	2,800
舗装工 延長82.6m 面積203㎡、排水工 延長97.6m	

主な特定財源

・国県支出金

3,095

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)15道路新設改良費

◎道路新設改良の経費

道路新設改良事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路新設改良事業

- ・岩瀬今泉周辺の交通対策として、砂押川沿い道路の歩道整備に係る調査設計等を行った。
- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度から事故繰越した、市道037-000号線外の道路改良整備工事を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、市道032-000号線の小町通り景観舗装道路新設改良工事を行った。
- ・市道055-000号線については、湘南モノレールとの協議事項に変更が生じ、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 道路の改良整備(5-4-2-③)
- 岩瀬今泉周辺交通対策(既存道)(5-4-2-⑧)
- 電線類の地中化(5-4-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
201,000	254,773	197,803	17,203	39,767
主な支出内訳				
・道路新設改良事業				
13節	砂押川沿い歩道調査設計等業務委託料			12,915
	張出し歩道詳細設計 1式、地下埋設物調査 1式			
	舗装構成調査業務委託料			3,192
	FWD調査 334点、試掘調査 14箇所、交通量調査 11箇所、補修設計 1式			
15節	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費			139,808
内訳				
	西鎌倉四丁目2番先(市道023-000号線)			24,785
	舗装工 延長260.0m 面積2,372㎡			
	城廻491番地21先(市道064-001号線)			16,800
	舗装工 延長352.7m 面積1,672㎡			
	今泉台二丁目6番先(市道061-000号線)			28,482
	舗装工 延長310.0m 面積2,172㎡			
	稲村ガ崎五丁目8番先(市道013-000号線外)			12,390
	舗装工 延長153.9m 面積1,045㎡			
	高野1番地6先(市道205-162号線)			18,091
	舗装工 延長179.3m 面積1,042㎡			
	七里ガ浜東一丁目1番先(市道013-000号線)			16,275

舗装工 延長222.6m 面積1,587㎡	
二階堂792番地先(市道037-000号線外)(前年度からの事故繰越し)	14,285
舗装工 延長446.9m 面積2,242㎡	
津西一丁目17番先(市道055-000号線)(翌年度への事故繰越し)	8,700
舗装工 延長236.0m 面積1,362㎡	
小町通り景観舗装道路新設改良工事請負費(市道032-000号線)	41,888
景観/遮熱性舗装 延長509.4 m 面積2,323㎡(前年度からの繰越明許費)	
主な特定財源	
・国県支出金	39,040

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)20橋りょう維持費

◎橋りょう維持の経費

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 橋りょう維持補修事業

- ・小袋谷跨線橋定期点検を委託し実施した。
- ・橋りょう89橋の点検調査及び1橋の詳細点検調査を行った。
- ・劣化が著しい箇所の補修等により、安全な交通を確保した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

生活道路の整備(小袋谷跨線橋)(5-4-2-⑥)

橋りょうの長寿命化修繕計画の策定(5-4-2-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,541	44,290	37,174		7,116
主な支出内訳				
・橋りょう維持補修事業				
11節	大船橋外高欄等維持修繕料			0
	本龍寺橋高欄等維持修繕料			4,200
	仮設転落防止柵設置、高欄設置			
13節	小袋谷跨線橋定期点検調査業務委託料			2,394
	橋りょう点検調査業務委託料			4,914
	点検調査2橋(広瀬橋、岩瀬橋)、詳細点検調査1橋(神戸橋)			
	平成25年度橋りょう点検調査業務委託料			13,598
	関谷1503番地先外 橋りょう点検調査 87橋			
14節	橋りょう長寿命化修繕計画共同システム使用料			134
15節	七里ガ浜一丁目20番先 橋りょう維持修繕等工事請負費			11,934
	舗装打換 延長20.4m 面積85㎡、支承取替 1式、伸縮装置取替 1式、			
	高欄設置 延長36.2m、橋桁補強工 1式			
主な特定財源				
・国県支出金				
				7,479



(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 道路・河川維持管理協力団体等

意図 良好な市道・河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【事業の内容】

- (1) 河川管理運営事業
- ・河川の良い環境を維持するため、清掃等維持管理作業及び環境実態調査等を協力団体に依頼した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,489	1,489	1,488		1

主な支出内訳

・河川管理運営事業				
8節 河川維持管理協力団体報償費				240
11節 消耗品費				20
14節 浸水対策排水施設用地土地賃借料				1,228

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

都市整備部下水道河川課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		35,580
・ 2節 給料	一般職	17,271
	一般職職員	4人
	再任用(短時間)	1人
・ 3節 職員手当等		13,111
	扶養手当	950
	地域手当	2,299
	通勤手当	674
	超過勤務手当	1,008
	休日給	31
	管理職手当	940
	期末勤勉手当	6,554
	住居手当	615
	管理職員特別勤務手当	30
	児童手当	10
・ 4節 共済費		5,198
	市町村職員共済組合負担金	5,023
	雇用保険料	175

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【事業の内容】

(1) 河川維持補修事業

- ・ 準用河川新川の維持修繕工事については、台風前の工事完了を目指すため、年度内に工事契約を行い翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 準用河川及び調整池のしゅんせつを行った。
- ・ 神奈川県下の治水及び利水に関する企画、調査及び研究や治水及び利水事業の促進を目的として、県内市町村で構成されている、神奈川県河川協会へ参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

準用河川の整備・修繕(5-6-2-①)

雨水施設の修繕(5-6-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,193	57,311	20,871	21,681	14,759

主な支出内訳

・ 河川維持補修事業

11節	河川管理施設突発的維持修繕料	2,359
	滑川維持修繕料	3,437
13節	準用河川しゅんせつ業務委託料	657
	調整池しゅんせつ業務委託料	649
15節	準用河川維持修繕工事請負費(準用河川砂押川(岩瀬671番地先))	0
	準用河川維持修繕工事請負費(準用河川新川(常盤165番地先))	13,700
	護岸根固工 延長32.8m (翌年度への繰越明許費)	
19節	神奈川県河川協会負担金	69
22節	地下埋設物移設等補償金	0

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 ・ 浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【事業の内容】

(1) 雨水施設維持管理事業

- ・雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,843	15,843	13,799		2,044
主な支出内訳				
・雨水施設維持管理事業				
11節	消耗品費			170
	印刷製本費			17
	雨水調整池光熱水費			6,626
	雨水調整池管理施設等突発的維持修繕料			2,052
	備品修繕料			52
12節	電信料			917
	雨水調整池自家用電気工作物等点検手数料			1,390
13節	フラップゲート点検委託料			588
	雨水調整池巡回点検委託料			930
	玉縄調整池計装設備点検等委託料			1,057

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

都市計画運営事務

都市計画課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【事業の内容】

(1) 都市計画運営事務

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の変更、都市計画事業認可の変更等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報を更新し、都市計画図等の印刷を行った。
- ・都市マスタープランの見直し作業に必要な基礎資料の作成、評価作業の準備及び検討組織の設置・運営等の取組を行った。
- ・県下一斉に実施される市街化区域及び市街化調整区域の見直し等作業に必要な基礎データの調書等を作成し、県とのヒアリングを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市マスタープランの推進(5-2-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,283	6,283	5,111		1,172
主な支出内訳				
・都市計画運営事務				
1節	都市計画審議会委員報酬 16人			266
	事務補助嘱託員報酬 1人			1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償(通勤分)			87
11節	消耗品費			429
	都市計画図等印刷製本費			1,995
	都市計画決定図書等印刷製本費			319
13節	鎌倉市都市計画関連データ等修正業務委託料			536
	鎌倉市都市計画業務支援システム保守業務委託料			441
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金			10

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

環境部環境保全課(環境保全担当)  
まちづくり景観部のうち都市計画課・交通計画課・都市景観課・みどり課  
都市調整部都市調整課(風致担当)  
都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課  
拠点整備部(再開発課拠点整備総務担当及び再開発担当を除く)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		450,404
・ 2節 給料	一般職	213,406
	一般職職員	58人
・ 3節 職員手当等		167,505
	扶養手当	8,196
	地域手当	27,820
	通勤手当	5,816
	超過勤務手当	12,725
	休日給	152
	管理職手当	10,235
	特殊勤務手当	1
	期末勤勉手当	85,476
	住居手当	12,166
	管理職員特別勤務手当	208
	児童手当	4,710
・ 4節 共済費		69,493
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

都市景観:歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることに  
より、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 都市景観形成事業

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画及び景観地区等の制度を運用し良好な景観の形成を推進した。
- ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

景観計画の運用(3-2-1-①)

屋外広告物の適正な規制・誘導(3-2-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,551	4,551	4,197		354
主な支出内訳				
・都市景観形成事業				
1節	景観審議会委員報酬 10人			246
8節	景観形成推進委員謝礼等			171
11節	消耗品費			152
	印刷製本費			160
12節	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料			28
13節	違反広告物除却業務等委託料			215
	行政刊行物販売委託料			5
19節	景観重要建築物等助成金			3,220
	景観形成協議会活動助成金			0

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

風致地区事務

【 都市調整課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

都市景観:歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【事業の内容】

(1) 風致地区事務

- ・風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,411	1,411	1,365		46
主な支出内訳				
・風致地区事務				
1節	事務補助嘱託員報酬 1人			1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償			81
11節	消耗品費			37
	印刷製本費			10
	風致地区内標柱維持修繕料			174
19節	古都保存連絡協議会負担金			35



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【事業の内容】

- (1) 国県道対策運営事務
- ・小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
  - ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
  - ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,183	1,183	1,169		14

主な支出内訳

・国県道対策運営事務	
1節 事務補助嘱託員報酬 1人	1,028
9節 事務補助嘱託員費用弁償	42
11節 消耗品費	19
19節 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金	40
関東国道協会負担金	40

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

<b>国県道対策事業</b>	【	道路課	】
----------------	---	-----	---

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【事業の内容】

- (1) 国県道対策事業
  - ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【事業費】 (単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25	25	23		2
主な支出内訳				
・国県道対策事業				
11節 一般文具等消耗品費				
				23

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路整備計画等運営事務

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備のあり方について検討を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60	60	60		0
主な支出内訳				
・道路整備計画等運営事務				
19節 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金				60

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎市街地整備の経費

市街地整備運営事業

【 再開発課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 市街地整備運営事業

- ・ 部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 施設の適正な維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,264	3,264	2,406		858
主な支出内訳				
・ 市街地整備運営事業				
11節	一般文具等消耗品費			111
	車両燃料費			163
	光熱水費			743
	ネットフェンス門扉修繕等修繕料			251
	備品修繕料			0
	車両修繕料			74
12節	電信料			242
	消防設備点検手数料			15
	火災等保険料			76
13節	警備業務委託料			78
	清掃業務委託料			172
	FAX・コピー複合機保守点検業務委託料			303
14節	NHK放送受信料等			171
27節	自動車重量税			7

(款)45土木費 (項)20都市計画費 (目)5都市計画総務費

◎市街地整備の経費

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金

再開発課

【事業の内容】

- (1) 大船駅東口再開発事業特別会計繰出金
  - ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
99,270	90,904	90,904		0

主な支出内訳

- ・大船駅東口再開発事業特別会計繰出金
  - 28節 繰出金 90,904

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎拠点整備の経費

古都中心市街地整備事業

再開発課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場、交差点改良等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口を整備する。

【事業の内容】

(1) 古都中心市街地整備事務

- ・事業の運営に必要となる資料作成等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
137	137	105		32
主な支出内訳				
・ 古都中心市街地整備事務				
11節	一般文具等消耗品費			105
	陽画等印刷製本費			0

◎拠点整備の経費

**深沢地域整備事業**

【 深沢地域整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【事業の内容】

(1) 深沢地域整備事業

- ・ 土地区画整理事業の土地評価基準(案)を作成し土地評価を行った。また、施行後の換地の位置及び規模等を定めるための換地設計基準(案)の作成を行った。
- ・ 既を取得した事業用地(B用地)の一部において、前年度の調査(地歴調査、土壤汚染状況調査)結果に基づき、土壤汚染の深度方向調査等及び対策処理工事に係る設計業務を行った。
- ・ 土地区画整理事業の推進を図るため、専門家の支援を受け、権利者との換地、補償等に関する調整等を行った。
- ・ 土木積算総合システムの保守業務を行うとともに、機器を賃借した。
- ・ 「湘南地区整備連絡協議会」の運営を行った。
- ・ 湘南地区整備連絡協議会において前年度までに実施した調査結果を基に、JRへ新駅設置判断を求めるために実施した検討調査業務への負担を行った。

(2) 深沢地域整備事務

- ・ 既を取得した用地の管理(除草、剪定)を行った。
- ・ 市街地整備についての情報収集を行うため、市街地整備促進協議会に参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深沢地域国鉄跡地周辺の整備(5-2-1-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
178,444	44,122	42,641		1,481
主な支出内訳				
・ 深沢地域整備事業				
1節	民間等事業者選定委員会報酬			0
8節	技術アドバイザー報償費			51
13節	土木積算総合システム保守業務委託料			134
	深沢地区事業化推進検討業務委託料			19,950
	深沢地域取得済用地土壤汚染状況調査(深度調査)業務委託料			1,890
	深沢地域取得済用地土壤汚染状況調査(絞り込み調査)業務委託料			493
	深沢地域取得済用地土壤汚染状況調査(絞り込み調査その2)業務委託料			304
	深沢地域取得済用地土壤汚染対策処理設計業務委託料			2,205
	深沢地区土地区画整理事業推進支援業務委託料			9,975
14節	土木積算総合システム機器賃借料			17
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金			100
	村岡・深沢地区拠点づくり検討調査負担金			3,100

・ 深沢地域整備事務		
1節	事務補助嘱託員報酬 1人	1,028
9節	事務補助嘱託員費用弁償	61
11節	一般文具等消耗品費	530
	陽画等印刷製本費	0
13節	深沢地域取得済用地管理業務(その1)委託料	1,150
	深沢地域取得済用地管理業務(その2)委託料	54
	深沢地域取得済用地管理業務(その3)委託料	1,050
	深沢地域取得済用地管理業務(その4)委託料	499
19節	市街地整備促進協議会負担金	50

主な特定財源

・ 国県支出金	6,650
---------	-------



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎大船駅周辺整備の経費

周辺整備事業

再開発課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りたようまちを創造する。

【事業の内容】

(1) 周辺整備事業

- ・大船駅東口、西口のエレベーター等管理施設の一体的な監視システムの構築に伴い、東口既設エレベーター等の旧監視システムを撤去した。
- ・大船駅東口の視覚障害者誘導用ブロックの改修を行った。
- ・JR東日本が施行している大船駅東口エレベーター等整備工事に対し負担を行った。
- ・砂押川沿い桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。

(2) 周辺整備運営事業

- ・まちづくり協議会(3地区)を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

駅の拡充整備(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑤)

鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
346,676	315,484	315,138		346
主な支出内訳				
・周辺整備事業				
8節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務専門員報償費			12
11節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務用消耗品費			11
13節	鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援樹木管理委託料			266
	大船駅東口既設エレベーター等旧監視システム撤去業務委託料			499
	大船駅東口視覚障害者誘導用ブロック等改修業務委託料			231
19節	大船駅東口エレベーター等整備工事負担金			312,807
・周辺整備運営事業				
1節	事務補助嘱託員報酬 1人			1,028
8節	まちづくり協議会(3地区)専門委員報償費			12
9節	事務補助嘱託員費用弁償			36
11節	一般文具等消耗品費			47
	カラープリンター用消耗品費			48
	土木積算プリンター用消耗品費			141
	陽画等印刷製本費			0

主な特定財源  
・ 地方債

154,800

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎大船駅西口整備の経費

西口整備事業

再開発課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅西口駅前の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。

効果 ①歩行者と車両分離による安全性と快適性を確保する②バス停の集約化を図る③駅前の渋滞解消を図る。

【事業の内容】

(1) 西口整備運営事業

- ・事業の運営に必要な資料作成等を行った。
- ・大船駅西口に歩行者誘導用の路面標示を設置した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30	430	414		16
主な支出内訳				
・西口整備運営事業				
11節	一般文具等消耗品費			15
	陽画等印刷製本費			0
13節	大船駅西口歩行者誘導用路面標示設置業務委託料			399

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

<b>緑政運営事業</b>	【	みどり課	】
---------------	---	------	---

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 緑政運営事業

- ・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。
- ・特別緑地保全地区の指定に至らなかったため、標識の設置は行わなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑の基本計画の推進(3-1-1-①)

特別緑地保全地区等の指定の推進(3-1-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,516	1,516	1,049		467
主な支出内訳				
・緑政運営事業				
1節	緑政審議会委員報酬 15人			154
	緑化推進専門委員報酬 1人			408
8節	緑政審議会の審議に関する事前打合せに伴うお礼			2
11節	消耗品費			156
	印刷製本費			16
13節	特別緑地保全地区標識設置業務委託料			0
19節	森林協会等負担金			313

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

**緑地維持管理事業**

【 公園課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 緑地維持管理事業

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置工事を行った。
- ・ 落石防護柵の堆積土砂等の撤去及び修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,213	36,213	34,607		1,606
主な支出内訳				
・ 緑地維持管理事業				
11節	消耗品費			5
	光熱水費			43
	管理施設維持修繕料			3,836
12節	電信料			42
	緑地に関する賠償責任保険等保険料			972
13節	緑地維持管理委託料			26,561
	(稲村ガ崎1-1号緑地外 除草工148,627㎡外)			
15節	緑地維持管理工事請負費			3,148
	((仮称)長谷3号緑地 落石防止網設置工面積72㎡)			

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑地取得事業

【 みどり課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買い入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【事業の内容】

(1) 緑地取得事業

- ・鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入申出により、都市緑地法第17条に基づき緑地を買入れた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑地確保施策の推進(3-1-1-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
199,627	199,627	175,941		23,686
主な支出内訳				
・緑地取得事業				
13節	鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料			312
17節	鎌倉近郊緑地特別保全地区土地購入費			175,629
主な特定財源				
・国県支出金				
				96,595
・地方債				
				71,100

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑化啓発事業

【 みどり課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【事業の内容】

(1) 緑化啓発事業

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,282	5,282	4,014		1,268

主な支出内訳

・緑化啓発事業

8節	ポスターコンクール優秀賞・参加賞記念品	110
11節	消耗品費	30
13節	緑化啓発に関する業務委託料	3,238
	＜委託業務内容＞	
	○緑の学校の企画・運営等 (参加者数=48名 開催回数=10回(延330名))	
	○緑のレンジャー(ジュニア)の企画・運営等 (参加者数=46名 開催回数=11回(延375名))	
	○緑のレンジャー(シニア)の企画・運営等 (参加者数=16名 開催回数=11回(延115名))	
	○緑のレンジャー自主グループの支援・育成等 (参加者数=延286名 開催回数=20回)	
19節	第25回鎌倉市緑化まつり事業負担金	160
	まち並みのみどりの奨励事業補助金 件数=8件 総延長=87.0m	476

◎緑政の経費

<b>街路樹維持管理事業</b>	【 公園課 】
------------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成が図れる。

【事業の内容】

(1) 街路樹維持管理事業

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,013	17,013	16,016		997
主な支出内訳				
・街路樹維持管理事業				
8節	街路樹愛護会報償費	21団体		1,350
11節	消耗品費			600
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料			812
	街路樹維持管理委託料			12,754
	〔 荏柄天神街路外57路線除草28,310㎡ 低木刈込8,240㎡ 〕			
	〔 市役所前街路外19路線 冬期剪定792本外 〕			
	街路樹植替委託料			500



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

樹林維持管理事業

【 公園課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【事業の内容】

(1) 樹林維持管理事業

- ・対象樹林地を6分割し、毎年度1地区ずつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・平成25年度は、長谷・極楽寺(長谷一・三～五丁目、坂ノ下全域、極楽寺一～四丁目、稲村ガ崎一・二・五丁目、笛田六丁目、腰越二丁目)地区を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,555	12,555	11,804		751

主な支出内訳

・ 樹林維持管理事業

13節 樹林維持管理委託料

11,804

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑地保全事業

みどり課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【事業の内容】

(1) 緑地保全基金積立金

・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

(2) 保存樹林等奨励事業

・ 保存樹林、樹木、生垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。

・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。

・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑地確保施策の推進(3-1-1-④)

緑地保全基金の積立て(3-1-1-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
46,058	46,058	38,595		7,463
主な支出内訳				
・ 緑地保全基金積立金				
25節	緑地保全基金積立金			1,346
	緑地保全基金利子等積立金			997
	緑地保全基金寄附金積立金			723
・ 保存樹林等奨励事業				
8節	市民緑地愛護会報償金			30
13節	確保緑地の適正整備委託料 5件			2,206
19節	保存樹林奨励補助金			16,828
	204件 2,681,632㎡			
	保存樹木奨励補助金			612
	66件 340本			
	保存生垣奨励補助金			883
	120件 10,845㎡			
	緑地保全契約奨励補助金			14,970
	129件 651,244㎡			

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

風致保存会助成事業

みどり課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 風致保存会助成事業

- ・風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,053	13,053	12,053		1,000

主な支出内訳

・風致保存会助成事業

19節 風致保存会運営費補助金

11,853

25節 風致保存基金寄附金等積立金

100

26節 風致保存会寄附金

100

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎交通政策の経費

交通環境整備事業

【 交通計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

- (1) 交通環境整備事業
- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
  - ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。
  - ・世界遺産登録の推薦取り下げにより、「(仮称)世界遺産手形」の発売が延期されたことから、利用促進を図るための交通広告等のPRを行わなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地区交通計画の策定(5-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,381	2,641	2,555		86
主な支出内訳				
・交通環境整備事業				
11節	渋滞統計システム関連等消耗品費			855
	印刷製本費			289
	パーク&ライド案内看板等修繕料			77
13節	交通量調査業務委託料			1,113
	世界遺産関連交通広告PR委託料			0
14節	パーク&ライド自動発券機賃借料			138
19節	三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金			83

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎交通政策の経費

交通体系整備事業

【 交通計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1) 交通体系整備事業

- ・鎌倉地域の休日の交通渋滞を解消するために、市民・交通事業者・関係行政機関等で構成する「鎌倉市交通計画検討委員会」を開催し、市と地域住民・関係機関との協働による安全で快適な歩行環境の実現をめざすとともに、策定後経年した地区交通計画を検証した。
- ・新規循環バスの交通社会実験は、著しい交通渋滞が発生するゴールデンウィークに実施することで、より正確な効果・検証を行えることから翌年度へ繰越しを行った。
- ・北鎌倉駅の駅施設の安全確保及び利用者の利便性の向上を図るため、バリアフリー化を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

北鎌倉駅周辺のまちづくり(5-2-2-③)  
地区交通計画の策定(5-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,458	29,897	16,684	4,439	8,774
主な支出内訳				
・交通体系整備事業				
1節	交通計画検討委員会委員報酬 23人			475
8節	交通政策専門員謝礼			0
13節	鎌倉地域地区交通計画支援業務委託料			7,875
	交通社会実験実施事業委託料(翌年度への繰越明許費)			0
14節	会議室使用料			1
19節	北鎌倉駅舎エレベータ設置補助金			8,333

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎海浜の経費

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 ・樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。  
・安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【事業の内容】

(1) 海浜保全事業

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
502	502	352		150
主な支出内訳				
・海浜保全事業				
11節	消耗品費			37
	既存車止め等維持修繕料			35
13節	海岸の障害物処分等業務委託料			0
19節	サーフ90ライフセービング事業負担金			280

(款)45土木費 (項)20都市計画費 (目)15公共下水道費

◎公共下水道の経費

下水道事業特別会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【事業の内容】

- (1) 下水道事業特別会計繰出金
  - ・下水道事業特別会計への繰出金を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,391,000	2,269,000	2,269,000		0

主な支出内訳

- ・下水道事業特別会計繰出金
  - 28節 繰出金

2,269,000

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園運営事業

公園課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園運営事業

- ・ 散在ガ池森林公園、鎌倉広町緑地に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
243	243	238		5

主な支出内訳

・ 公園運営事業

1節	都市公園等緑化推進専門委員報酬 2人	136
19節	全国都市公園整備促進協議会負担金	42
	神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金	10
	日本公園緑地協会負担金	50



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園維持管理事業

【

公園課

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園維持管理事業

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 経年劣化した公園施設の修繕及び市民要望による公園施設(水飲み等)の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の整備を行った。
- ・ 源氏山公園の土砂崩落に伴い落石防止網を設置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

街区公園の整備(3-1-2-⑤)

都市計画公園等の運営(3-1-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
288,839	288,839	286,066		2,773
主な支出内訳				
・ 公園維持管理事業				
1節	都市公園指定管理者選定委員会委員報酬 5人			156
11節	消耗品費			500
	維持修繕料 (源氏山公園落石防止網設置、笛田公園スタンドフェンス塗装外)			13,932
12節	ボランティア保険料			15
13節	都市公園(笛田公園を除く)指定管理料((公財)鎌倉市公園協会)			196,809
	都市公園(笛田公園)指定管理料(三菱電機ライフサービス(株)湘南支社)			22,847
	児童遊園等管理委託料			9,618
	公園維持管理委託料(鎌倉中央公園外)			2,053
	長寿命化計画策定業務委託料			9,345
14節	児童遊園等土地賃借料(ふじみ児童遊園、山崎子どもの広場外)			25,262
	梶原六本松公園土地賃借料			5,391
19節	指定管理者リスク分担金(笛田公園を除く)			0
	指定管理者リスク分担金(笛田公園)			0
	水道利用加入金			138
主な特定財源				
	・ 国県支出金			4,600

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

<b>公園整備事業</b>	【 公園課 】
---------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園整備事業

- ・(仮称)扇湖山荘の整備として、防災工事等を行った。
- ・前年度から事故繰越した、七里ガ浜東地区再整備工事を行った。
- ・鎌倉広町緑地の供用開始に向けた、施設整備工事については、平成26年2月に発生した大雪により年度内の完了が困難なため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・(仮称)山崎・台峯緑地の供用開始に向けた、実施設計等策定業務委託については、平成26年2月に発生した大雪により年度内の完了が困難なため、翌年度へ繰越しを行った。

(2) 公園用地取得事業

- ・鎌倉広町緑地、(仮称)山崎・台峯緑地、(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地を取得し、早期開園を目指した。
- ・梶原六本松公園用地、夫婦池公園用地を取得し、維持管理を行った。
- ・いわせ下関青少年広場を防災公園として整備するため、独立行政法人都市再生機構による防災公園街区整備事業を進めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

(仮称)山崎・台峯緑地の整備(3-1-2-①)

街区公園の整備(3-1-2-⑤)

鎌倉広町緑地の整備(3-1-2-⑥)

都市計画公園等の整備(3-1-2-⑦)

岩瀬下関公園の整備(3-1-2-⑧)

(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地の整備(3-1-2-⑨)

(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の整備(3-1-2-⑩)

(仮称)扇湖山荘の整備・活用(3-1-2-⑪)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,496,485	1,409,879	1,308,353	84,957	16,569
主な支出内訳				
・公園整備事業				
11節	消耗品費			451
	印刷製本費			137
12節	ボランティア保険料			50
13節	鎌倉広町緑地維持管理等業務委託料			3,791
	(仮称)山崎・台峯緑地樹林管理等業務委託料			2,650
	(仮称)山崎・台峯緑地(公園)実施設計等策定業務委託料			9,200
	(翌年度への事故繰越し)			
	(仮称)山崎・台峯緑地(緑地)台帳整備業務委託料			679

	(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地樹林管理等業務委託料	1,068
	(仮称)扇湖山荘庭園管理等業務委託料	4,466
15節	七里ガ浜東地区街区公園再整備工事請負費(前年度からの事故繰越し)	5,960
	鎌倉広町緑地整備工事請負費(翌年度への事故繰越し)	39,060
	(仮称)山崎・台峯緑地(緑地)整備工事請負費	6,090
	(仮称)扇湖山荘防災工事請負費	20,628
・公園用地取得事業		
11節	消耗品費	115
	印刷製本費	190
13節	鎌倉広町緑地用地等不動産鑑定評価業務委託料	1,084
	時点修正意見書作成業務委託料	42
	(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地不動産鑑定評価業務委託料	0
	(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地不動産鑑定評価業務委託料	443
	梶原六本松公園用地不動産鑑定評価業務委託料	368
	夫婦池公園用地不動産鑑定評価業務委託料	126
	梶原六本松公園用地測量登記業務委託料	615
	夫婦池公園用地登記業務委託料	613
17節	鎌倉広町緑地用地購入費	259,975
	(仮称)山崎・台峯緑地用地購入費	400,611
	(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地購入費	0
	(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地用地購入費	22,556
	梶原六本松公園用地購入費	134,214
	夫婦池公園用地購入費	7,056
19節	独立行政法人都市再生機構事業負担金	386,115
主な特定財源		
	・国県支出金	272,302
	・地方債	886,400

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎市営住宅一般の経費

市営住宅管理運営事業

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【事業の内容】

- (1) 市営住宅運営事業
  - ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- (2) 市営住宅維持管理事業
  - ・市営住宅の改修工事及び指定管理者による維持管理を行った。
  - ・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。
  - ・前年度からの繰越明許費により、市営梶原住宅第3号棟外壁等改修工事を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
158,967	182,967	176,771		6,196
主な支出内訳				
・市営住宅運営事業				
1節 入居者選考委員報酬 5人				52
8節 市営住宅抽選会立会人謝礼				12
11節 消耗品費				100
印刷製本費				16
19節 神奈川県公共住宅供給推進協議会等負担金				23
・市営住宅維持管理事業				
11節 市営住宅各種維持修繕料				451
市営諏訪ヶ谷ハイツ給湯器取替修繕料				4,725
13節 公営住宅電算システム保守点検業務委託料				667
市営住宅等指定管理料				36,950
14節 福祉型借上市営住宅賃借料				94,542
公営住宅管理システム用機器等賃借料				674
15節 市営梶原東住宅第1号棟外壁等改修工事				14,679
市営梶原住宅第3号棟外壁等改修工事(前年度からの繰越明許費)				23,835
19節 市営住宅管理費等負担金				35
22節 地上デジタル放送電波障害補償金				10
主な特定財源				
・国県支出金				
				11,753

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎市営住宅一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

都市整備部建築住宅課(住宅担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		24,562
・ 2節 給料	一般職	11,390
	一般職職員	3人
・ 3節 職員手当等		9,368
	扶養手当	589
	地域手当	1,543
	通勤手当	334
	超過勤務手当	494
	管理職手当	885
	期末勤勉手当	4,729
	住居手当	606
	管理職員特別勤務手当	8
	児童手当	180
・ 4節 共済費		3,804
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎住宅政策の経費

住宅政策推進事業

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 住宅政策推進事業

- ・神奈川県からの委託により住生活総合調査を行った。
- ・市内の空き家住宅利活用による若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の検討を行った。
- ・高齢者の民間賃貸住宅への入居の支援を行った。
- ・住宅の小規模改修工事への助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

住宅政策の推進(5-5-1-①)

民間賃貸住宅への入居支援(5-5-1-③)

住宅リフォームへの助成(5-5-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,645	3,645	3,395		250
主な支出内訳				
・住宅政策推進事業				
1節	住生活総合調査業務報酬 4人			140
8節	住宅政策アドバイザー報償費			45
13節	あんしん賃貸支援事業による入居支援業務委託料			310
19節	住宅リフォーム補助金			2,900
主な特定財源				
・国県支出金				
				1,584